

北部普及だより

単為結果性トマト「パルト」で省力化！ ～新規就農者の取組～

平成 25 年に発足した能勢青年農業者（4H）クラブ（26 名 以下、4H クラブ）の多くは農外からの新規就農者です。農の普及課では、栽培技術や経営力の向上を支援して、クラブ活動の充実を図っています。

中でもトマトは、多くのクラブ員が基幹作物とし、栽培技術の向上や規模拡大に取り組んでいます。

良品のトマトを生産するためには、病害虫防除やかん水、施肥管理などに多くの時間を要します。その中でもトマトの着果促進として、ひとつひとつの花房に行くホルモン剤処理は農業者の労力負担が大きく、これを省くことができれば、これまで処理に要していた時間を他に向けることが可能となり、規模拡大と品質や収量の向上が期待できます。

そこで4Hクラブでは、ホルモン剤処理の不要な単為結果性品種「パルト」を試験栽培し、導入の可能性を検討しました。



▲どっちがおいしい？（アンケートの様子）

その結果、「パルト」は、従来の品種に比べて、作業時間が1割程度短くなりました。

また、収穫期間は14日程度長くなり、収量は約1.2倍、品質も遜色ありませんでした。

一般に単為結果性品種は食味が劣ると言われていますが、消費者や生産者に実施したアンケートでは「パルト」の食味は、市販のトマトとほぼ変わらないという結果になりました。

今回の結果を受け、トマトを栽培する4Hクラブ員は、「パルト」の導入を具体的に検討しています。

これからも農の普及課は、4Hクラブの活動を通じて、青年農業者が自立した農業経営を行い、能勢町で農業を担う人材に成長できるよう支援していきます。



▲思ったよりいいやん！（現地検討会の様子）

生産技術**直売所向け果樹栽培のワンポイントアドバイス！**

【果樹全般】 果樹は土壌の排水不良で栽培に失敗することが多くあります。水田跡などに植える場合は暗きよ、明きよ、高うね栽培など排水対策が必要です。

【レモン】 かんきつ類の中でも暖地向きですが、近年グリーンレモンに人気があります。果皮にミカンサビダニの被害が多い場合は 6 月末～7 月初めに薬剤防除を行います。また、かいよう病に弱いので、温州みかんやゆずの樹とできるだけ離して植えるようにします。



【いちじく】 「完熟」あるいは「朝採り」のいちじくは人気があります。暖地では露地栽培ができ開園の初期費用も少なく、植え付け後 3 年目から収穫できますので、おすすめです。近年、寒い地域でもビニールハウス内で「雨よけ保温栽培」で 10 月～11 月頃まで出荷されている例があります。疫病やアザミウマ類の被害に注意が必要です。土壌をマルチングし、出荷できない被害果は園外に持ち出すなど、ほ場衛生に努めてください。

【ぶどう】 大粒系の「ピオーネ」「藤稔」「シャインマスカット」などに人気があります。病気に弱い品種が多いので雨よけ栽培施設が必要です。初期費用が大きく、品種も多く、無核（種なし）処理技術が必要ですので、植栽前に栽培計画をしっかりと立てることが重要です。



【かき】 かきは大きい果実に高値がつけられます。毎年小さな果実しかできない樹では冬期に間引きせん定をしっかりと行います。また、開花前の摘蕾や生理落果後の摘果で、果実肥大が良好になります。

お知らせ**大阪アグリアカデミア開講！**

農業経営者の「経営力」を高め、「新たな農業経営のモデル」を学ぶ、農業ビジネススクール「大阪アグリアカデミア」が、9 月 25 日開講しました。

面接で選ばれた 40 名の受講生は、来年 3 月まで農業経営に関する講義や課外実習を学びます。



▲大阪アグリアカデミア開講式

参加者募集中！「農業機械の安全講習会」

毎年全国で約 400 人の方が、農作業中の事故で命を落とされています。農の普及課では以下の日程で農業機械の安全講習会を実施します。



日時：平成 29 年 2 月 16 日（木）午後 1 時～

場所：大阪府豊能郡能勢町平通地区ほ場

内容：農機具メーカーから講師を招き、農業機械の特性に応じた操作方法及びメンテナンス方法について説明します。

お問い合わせ・申し込みは、北部農と緑の総合事務所農の普及課
TEL.072(627)1121(代)まで。